

環境保全活動を推進

▶ISO14001 認証

本社、調査分析センター、保繕工事課、小牧営業所、豊田営業所、設案事務所、長久手事業所、豊田事業所、安城営業所、東海営業所、豊橋営業所、浜松営業所、知多事業所、安城浄水事業所、三重支店、㈱エステム三重で認証取得しています。

▶ISO9001 認証

社長室、環境ソリューション部、技術統括部、SACRA センター、保繕工事課、フィールドエンジニア課、上下水道部営業企画課、業務管理部、総務部、人事部、調査分析センター、小牧営業所、長野営業所、豊田営業所、設案事務所、長久手事業所、豊田事業所、安城営業所、東海営業所、豊橋営業所、浜松営業所、田原事業所、関東営業所、新潟事業所、大阪営業所、水島事業所、碧南事業所、知多事業所、安城浄水事業所、幸田浄水事業所、男川浄水事業所、三重支店、㈱エステム三重で認証取得しています。

▶ISO55001 認証

下水処理施設と廃水処理施設の運用維持管理に関する本社技術支援部門 並びに長久手南部事業所及び 東海市食品工場廃水処理施設に関する運用技術部門で認証取得しています。

2016 年 9 月に ISO55001 の認証を取得しました。
2016 年 12 月に ISO14001、ISO9001 の 2015 年版対応を完了しました。

ISO55001 の認証取得について

2016 年 9 月 29 日に ISO55001 の認証を取得しました。ISO55001 はアセット（資産）を管理する仕組みをまとめた ISO 国際規格です。エステムはお客様のアセット（資産）をお預かりし、維持管理をしています。ISO55001 の仕組みを用いた管理を実施することで、更にお客様に安心と信頼をご提供できるよう活動を続けます。



主な受賞、認定ほか

第44回グッドカンパニー大賞 優秀企業賞  GOOD COMPANY AWARD 2011 年 1 月 受賞 (公益社団法人中小企業研究センター主催)	子育てサポート企業認定 「くるみん認定」  2022 年 12 月 更新認定 (厚生労働省主催)	ファミリーフレンドリー 企業登録  2010 年 8 月 登録 (愛知県主催)	水環境ACTIVE企業認証  2024年10月認証 (内閣官房水循環政策本部)
女性の活躍推進企業認定  2010 年 3 月 認定 (名古屋市主催)	名古屋市ワーク・ライフ・バランス 推進企業認定  2017 年 8 月 認定 (名古屋市主催)	あいち女性輝き カンパニー認証  2019 年 4 月 更新認定 (愛知県主催)	水道GLP認定  JWWA-GLP143 2019 年 9 月認証 (公益財団法人 日本水道協会)



〔所在地〕

本 社 〒457-0821 名古屋市南区弥次工町2-19-1
調査分析センター 〒457-0821 名古屋市南区弥次工町3-22-1
東 京 支 店 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-7 京王東日本橋ビル5F
三 重 支 店 〒514-2221 津市高野尾町1897-48
安 城 営 業 所 〒446-0056 安城市三河安城町2-26-1
豊 橋 営 業 所 〒440-0842 豊橋市岩屋町字岩屋下96-2
小 牧 営 業 所 〒485-0084 小牧市大字入鹿出新田字郷前1169-1
豊 田 営 業 所 〒470-0334 豊田市花本町宇津木136番地
浜 松 営 業 所 〒433-8117 浜松市中央区高丘東5丁目6-8
関 東 営 業 所 〒340-0206 埼玉県久喜市西大輪3-21-4
大 阪 営 業 所 〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町3-15-23 フォレスト阿倍野905号
長 野 営 業 所 〒397-0001 長野県木曽郡木曽町福島5 2 2 3 - 1
環 境 研 究 所 〒457-0821 名古屋市南区弥次工町2-19-1

TEL (052)611-0611(代) FAX (052)612-9384
TEL (052)612-9801 FAX (052)612-7504
TEL (03)5809-3994 FAX (03)5809-3995
TEL (059)230-0099 FAX (059)230-1902
TEL (0566)74-0422(代) FAX (0566)76-9558
TEL (0532)65-3033 FAX (0532)65-3020
TEL (0568)75-3471 FAX (0568)75-4084
TEL (0565)47-2288 FAX (0565)46-1710
TEL (053)436-7611 FAX (053)438-3944
TEL (0480)59-3877 FAX (0480)59-3887
TEL (06)6626-3610 FAX (06)6626-3620
TEL (0264)24-2008 FAX (0264)24-2009
TEL (052)619-7411 FAX (052)619-7412

作成およびお問い合わせ先

株式会社エステム 総務部 TEL:052-611-0611(代) FAX:052-612-9384
URL:http://www.stem.co.jp/



※この環境コミュニケーションレポートは、
ベジタブルインクを使用しています。



2025.6.5

環境コミュニケーションレポート

Environmental Communication Report 2025.

2025



ごあいさつ

日本では公害問題がいくつも発生した1960年代後半以降、特に閉鎖性水域を対象とした富栄養化対策が行われてきました。富栄養化とは、水中の窒素、リンなどの栄養塩類が必要以上に増えてしまうことです。富栄養化が進行すると大量の植物プランクトンが発生し、水中の溶存酸素濃度が低下することで海洋生物の死滅につながります。植物プランクトンの大発生は赤潮を引き起こし、赤く染まった海の写真は教科書にもよく掲載されていました。その後きれいな海を取り戻すために、法規制も定められ数々の対策が行われています。

しかし、昨今日本の海域では「貧栄養化」について取りざたされることが増えてきました。きれいな海を目指した結果、水中の栄養分が減り、漁獲量の減少、海苔が黒くならない色落ちなどが起きているのです。温暖化による海水温の上昇や、黒潮大蛇行による影響も多くありますが、一つの原因として「貧栄養化」があると言われています。

こうした貧栄養化への対策として、国の施策としても栄養塩類の能動的運転管理を推奨しています。主に下水処理場において、特に水産物に栄養塩類が必要な冬に、適

度に栄養塩類を残した処理水を放流するというものです。少しでもきれいな水を公共用水域に流すための水処理から、海に栄養を残すという新たなステージを目指すことになったのです。

身近な海である三河湾、伊勢湾でも貧栄養化の影響が出ています。技術的にも高度なこの課題に取り組むことでエステムグループも「海の豊かさを守ろう」というSDGsの目標14の達成を目指していきます。

私たちエステムグループは、人が使用し汚くなった水をきれいにするという本業だけでなく、ボランティア活動を通し地域環境、里山の保全にも取り組み、生物多様性を維持するための企業活動を行い、社会に貢献していきます。

なお、本レポートに関するご意見、ご感想がありましたら、当社スタッフまで頂ければ幸いです。

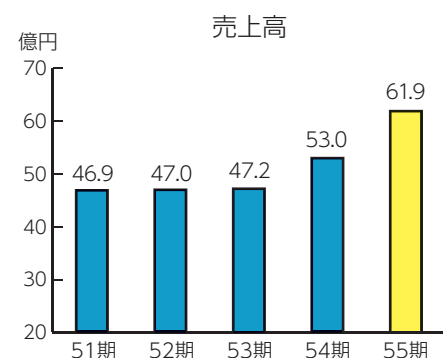
株式会社エステム 代表取締役社長

塩崎 敦子

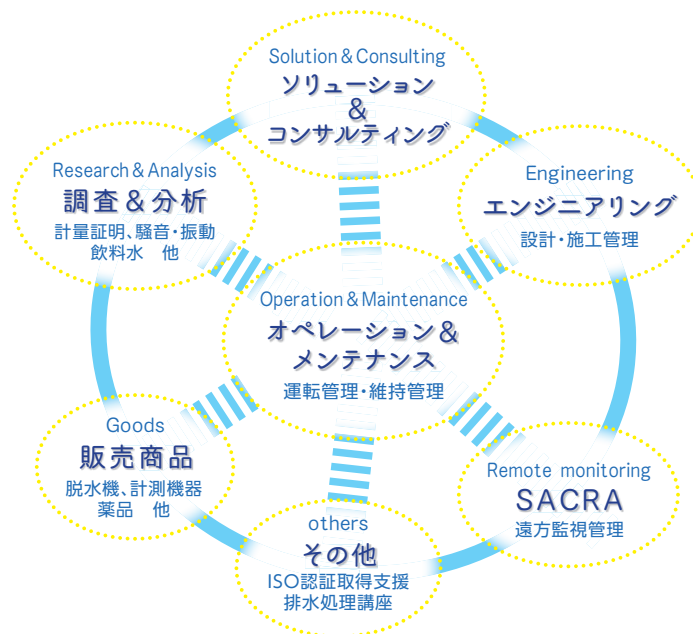


会社概要

商 号	株式会社エステム
本社所在地	〒457-0821 名古屋市南区弥次工町 2丁目19番地の1 TEL:052-611-0611 (代) FAX:052-612-9384
設 立	昭和45年(1970年)7月
資 本 金	7,000万円
従 業 員 数	482名(2025年4月現在)
代 表 者	塩崎 敦子
グループ会社	(株)アイ・メッツ (株)エステム三重 (株)日新技術コンサルタント (株)ソリトン



<エステムの環境技術>



エステムのコア事業はオペレーション&メンテナンス(環境施設の運転管理、維持管理)です。「エステムに依頼すれば何事も必ず満たしてくれる」。真のお客様第一主義を徹底するため、長年の維持管理経験で培った技術力を基に、日本一のサービスを提供することがエステムの基本です。

経営理念

株式会社エステムは水を中心とする環境文化と、安全で快適な自然環境の創造を通じて社会に貢献します。

環境・品質方針

エステムグループは水を中心とした環境保全事業を推し進めます。正確さ、誠実さをモットーに「安心」と「信頼」を提供し、「お客様第一主義の徹底」、「自然環境と生活環境の保全」を実行することを基本理念とします。

1. 基本理念を実現するために、次の項目を重点項目とし、環境・品質目標を各部門で設定して活動します。
(1) サービス・製品の高品質化、業務の高度化
(2) お客様中心の仕事の仕組みの構築
(3) 納期厳守はもちろんのこと、お客様のご期待より早く実行
(4) 改善・課題解決力向上とお客様への改善提案の推進
(5) 事業活動に伴う省資源・省エネルギーの推進
(6) 環境整備を推進
(7) 環境問題の啓発活動・ボランティア活動を推進
2. お客様要求事項、関連する法規制およびその他要求事項を順守します。
3. お客様満足度を向上させるために、環境・品質マネジメントシステムを継続的に改善します。
4. SDGsの目標達成に貢献することを視野に入れ、環境負荷の低減、環境汚染の予防、環境保護を推進し、かつ生物多様性に配慮した事業活動を行います。
5. 本方針は必要に応じて見直しを行います。また全社員に周知するとともに、関連会社および社会に公開します。

内閣官房水循環政策本部事務局より、「水循環 ACTIVE 企業」に認証されました！



近年、企業においては、企業の社会的責任（CSR）や持続可能な開発目標（SDGs）に加え、気候変動や自然災害、水リスクなどの様々な課題に対して、更なる対応が求められています。

これらの背景を踏まえて、水循環に寄与する取り組みに関心のある企業や、既に取り組みを実施している企業に対して登録認証を行う「水循環企業登録・認証制度」が創設されました。

本制度は、企業の取り組みを積極的に登録・認証することでインセンティブを高め、その取り組みがいつそう促進されることで、社会全体が水循環に向き合うことを目的としています。

2024 年度から始まったこの制度で、エステムは、既に積極的な取り組みを実施している企業として「水循環 ACTIVE 企業」に認証されました。

私たちの命を支える「水」。エステムでは「水を綺麗にする」「人々の生活を守り、地球環境を守る」という本業に留まらず、経営理念の実践として、環境フォーラムの開催、国内植林やボランティア活動に積極的に参加しています。今回、認められたこれらの活動の結果が、社会全体が水循環に向き合うことの一助になることを願っています。

第55 期環境管理計画（2023年10月～2024年9月）主な目標と実績

方針	55 期目的・目標	55 期実績と今後の課題	全社/ 各部署
----	-----------	--------------	------------

1. 環境関連法規則等の遵守

法令、条例、協定などを遵守し、地域の配慮事項を尊重します	法令、条例について違反はしていません。また訴訟はありません。	全社
------------------------------	--------------------------------	----

2. 環境負荷の低減活動を推進

省資源・省エネルギー化を推進します	自動車適性走行により燃費 13.59km/L	全車平均の燃費は 13.72km/L でした。 ※ 48 期から「e 燃費」のサイトの実燃費データを参考に、目標燃費を 13.59km/L と決めました。この目標を達成できるよう、エコ運転を心がけるようにしていきます。	全社
	低排出ガス車を導入	ハイブリット車の保有台数は 20 台です。55 期は 2 台の新規導入がありました。	全社
	電気料金削減	① 従来本社ビル内にあった調査分析センターが 2017 年 1 月から新社屋に移転し、稼働しました。これを機に電気使用量を本社ビル単独から、営業所（8 か所）も含めた合算で算出することとしました。48 期を基準とします。 ② 調査分析センターで、エネルギー量の把握と合わせて省エネ活動を行ないました。 ③ 毎週水曜日をノー残業デイとし、仕事の効率化を呼びかけています。	本社/ 8 営業所
廃棄物の削減、リサイクルを推進します	廃棄物を 100% 分別	本社では 3R ステーション（5 分別）を設置し、100% 分別実施しています。各営業所でも分別を推進しています。	本社 各部署
	紙の 100% 分別・リサイクル	古紙回収システムを確立し、100% 分別、リサイクルをしています。	本社

3. 啓発活動・ボランティア活動を推進

社員一人ひとりが環境問題に対する関心と知識を深め、啓発活動・ボランティア活動を推進します	エコ・ルール推進	月 1 回エコ・ルールのチェックを実施しています	全社
	鳳来寺つげ野の森育林活動	2024 年 5 月 11、12 日 48 名参加	全社
	清掃ボランティア実施	本社周辺：毎週火曜日の朝礼後に実施しています	本社
		地域清掃（愛知県 名古屋市南区、長久手市）：毎月 1 回実施しています	本社
		各地区： 愛知県 明治用水土地改良区 川と海のクリーン大作戦（中止） 愛知県 小牧市民まつり 2023 年 10 月 21 日 7 名参加 愛知県 長久手市 530 運動 2024 年 5 月 26 日 6 名参加 愛知県 豊橋市 530 運動 2024 年 6 月 6 日 9 名参加 三重県 町屋海岸清掃 2024 年 4 月 27 日 9 名参加 愛知県 岡崎市の水道水源の保全に向けた事業連携による取り組み「未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト」へ参加	各部署
	環境フォーラム開催	2024 年 6 月 10 日に第 33 回環境フォーラム「排水処理から「とりだす！」「つくる！」～資源化・エネルギー化が拓く未来～」を開催しました。	全社

4. 環境保全活動を推進

環境保全活動、環境管理システムの継続的改善、向上に努めます	ISO14001 認証	本社、調査分析センター、保繕工事課、小牧営業所、豊田営業所、設楽事務所、長久手事業所、豊田事業所、安城営業所、東海営業所、豊橋営業所、浜松営業所、知多事業所、安城浄水事業所、三重支店、(株)エステム三重で認証取得しています。	全社
-------------------------------	-------------	--	----

5. 環境・品質方針の周知徹底と情報公開

環境・品質方針を全社員に周知するとともに、関連会社および社会に公開します	内定者への教育、購買先、協力会社へ環境・品質方針の周知	内定者を対象に入社前通信教育を実施したほか、購買先、協力会社への環境・品質方針の送付も行いました。	全社
	環境・品質方針を社会に公開	ホームページ上で公開しています。	全社

環境負荷低減活動推進

燃費

全車平均の燃費は 13.72km/L でした。
「e 燃費※」のサイトの実燃費データを参考に、目標燃費を 13.59km/L と決めました。
この目標を達成できるよう、エコ運転を心がけるようにしていきます。
今後は、点検車両のハイブリッド化を進める予定です。
※ e 燃費 URL <https://e-nenpi.com/>

電気料金

- 従来本社ビル内にあった調査分析センターが 2017 年 1 月から新社屋に移転し、稼働しました。これを機に電気使用量を本社ビル単独から、営業所も含めた合算で算出することとしました。48 期を基準としています。
- 調査分析センターで、エネルギー量の把握と合わせて省エネ活動を行いました。
- 毎週水曜日をノー残業デイとし、仕事の効率化を呼びかけています。

	48 期	55 期
電気使用量合計 (kWh)	506,609	481,669
CO2 排出量 (t)	262.4	222.8

太陽光発電

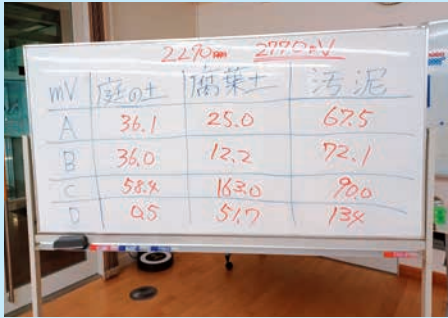
2008 年 10 月から本社ビル屋上に、2017 年 1 月から調査分析センター、2017 年 9 月から豊橋営業所にも太陽光発電システムを設置し、現在も稼働しています。

廃棄物の 100% 分別実施

55 期の数値は以下のとおりです。100% 分別しています。
単位：kg

	52 期	53 期	54 期	55 期
金属屑	351.7	330.4	634.3	272.4
金属付 廃プラ	380.0	468.3	486.6	653.5
廃プラ 廃ゴム	1438.8	1496.4	1679.1	1555.0
紙・木 繊維屑	117.0	212.8	337.0	307.4
ガラス屑 陶磁器屑	208.9	206.2	124.3	173.6
廃油	314.9	174.8	187.1	176.8
計	2811.3	2888.9	3448.4	3138.7

環境フォーラム事後勉強会



碧南事業所 市川勇太

第 33 回環境フォーラムの事後勉強会として、2024 年 6 月 22 日（土）に「微生物の力で電気を作ろう！～汚泥から微生物燃料電池を作って発電してみましょう～」を開催しました。当日は子供から大人まで 13 名の方が参加してくださいました。

環境フォーラムでは講師の方に排水処理から様々なエネルギーを回収する取り組みについて紹介して頂きましたが、事後勉強会ではその一例として微生物燃料電池の実験教室を開催しました。汚泥や腐葉土などを使って微生物燃料電池を参加者の方に作成してもらい、電圧を測定して発電能力があることを知ってもらいました。排水処理の過程で廃棄物になってしまう汚泥ですが、実はそこから資源を回収できる可能性があるのだと体感することが出来ました。その後、微生物燃料電池を用いて発光ダイオードを点灯させました。点灯した時に参加者の方から「すごい！」と歓声が上がった時は、この事後勉強会を企画して良かったと感じました。

（※第 33 回環境フォーラムについては、p8 をご覧ください）

ボランティア活動推進



地域清掃ボランティア実施（対象：本社、各営業所、事業所）

本社 毎週火曜日の朝礼後 本社周辺ゴミ拾い

1990 年、ある社員の「一緒に道路に落ちているゴミを拾いませんか？」の一言から始まった活動です。小さな努力の繰り返し大きな「変化」に繋がると信じ、参加することで「地球環境を守りたい」という初心を新たにしています。

小牧営業所 2023 年 10 月 21 日（土） 第 44 回小牧市民まつり

参加者感想



小牧営業所 上田辰彦

小牧山で開催された小牧市民まつりにて、アンケートの協力依頼とゴミ拾いのボランティアに参加しました。当日は時折曇ることもありましたが概ね晴れており、多くの方の来場がありました。私たちは来場された方にアンケートの協力依頼をしました。小牧市にお住まいの方が多く来場されていると思っていましたが意外と県外からの来場者も多く驚きました。アンケートへの協力も積極的でした。アンケートの協力依頼と並行して、ゴミ拾いも自発的に行いました。来場されている方も多かったため、かなりゴミが落ちていたところもありました。このボランティアに参加してみて、アンケートの協力依頼、ゴミ拾いの大変さを改めて実感しました。私たちも交代で休憩する間で、催し物やイベントを楽しむことができました。

長久手事業所 2024 年 5 月 26 日（日） 長久手市 530（ごみゼロ）運動

参加者感想



総務課 大西末紗

今回、私は 2 度目の長久手市の 530 運動に参加しました。1 度目である昨年は、エステム社員だけで、ゴールの小学校を目指しながらゴミ拾いをするという形でしたが、今年は市民の方々と一緒に、市内のコースを巡ってゴミ拾いを行いました。参加して驚いたことは、参加人数と、長久手市内のきれいさです。大人子供問わず、多くの方が参加しているのを見て、市民の方々の環境意識の高さを感じました。一緒にコースを回った子供たちが、楽しげにゴミ拾いをする姿に元気をもらえました。また、市内のゴミがとても少ないことも驚きました。普段から市民の方々が、環境に気を配っていることを知ることができました。環境について考える素敵な機会となりよかったです。

豊橋営業所 2024 年 6 月 6 日（火） 豊橋 530 運動

参加者感想



豊橋営業所 戸波謙太

豊橋市には自然歩道があり、多くの観光客が訪れました。その結果、ごみを捨てる人が増え、自然歩道はごみで溢れました。自然保護や環境保全の両面から、関係者による清掃活動が行われてきましたが、なかなかごみは減りませんでした。この現実を改善するべく「自分のごみは自分で持ち帰りましょう」を合言葉に、530 運動は始まりました。

豊橋営業所も、530 運動を実施しました。道沿いの草むらやコンクリートブロックの溝、敷地の隅に煙草の箱や吸い殻、ガラスやプラスチックの破片、ペットボトル、空き缶、お菓子の袋等が沢山落ちていました。特に煙草の箱や吸い殻は、次から次へと見つかりました。

営業所の前にある片側二車線の国道一号線の中央分離帯には、ペットボトルや空き缶等の飲み物のごみが多く捨てられており、窓から飲み終えたごみを捨てて行く人が多いのだと感じました。ゴミ拾いを行っていくことも大切ですが、ごみを捨てないという 530 運動について周知していき、一人ひとりの意識が変化していったほしいと思いました。

エステム三重 2024 年 4 月 27 日（土） 町屋海岸清掃ボランティア

参加者感想



エステム三重 木村悠人

今回の海岸清掃ボランティアも、昨年と同じ三重県津市にある町屋海岸にて実施しました。

当日は微量な降雨があったもののボランティア開始時には止み、比較的活動しやすい気候でした。

エステム三重にてボランティアを募集し、総勢 9 名で行い、新規配属された社員にも参加してもらうことができました。

昨年とは異なり、当日は清掃ボランティアを行っている団体は他にいませんでした。しかし『町屋海岸 清掃』で調べてみたところ、三重大学の環境 ISO 学生委員会が主体となり、地域住民によって結成された NPO 法人町屋百人衆の方々と年 5 回、ゴミ拾いなどの海岸美化活動を行っているそうです。そのため、大きなゴミやペットボトルのごみは少なかった印象です。しかしながら、マイクロプラスチックなどといった小さなごみはやはりまだまだ落ちていて、全てを拾いきるのは難しかったです。また、マイクロプラスチックは洗顔のスクラブに含まれたり、歯磨き粉の研磨剤に含まれるものがあります。マイクロプラスチックを捨てている意識はなくても、日常生活に溶け込んでいる製品に使用されていけば、無意識に捨てていることとなります。

今回のボランティア活動では、環境に対してより深く考えられるような良い機会となりました。

鳳来寺つげ野の森育林活動

調査分析センター 高野啓紀

5 月 11 日、12 日に開催された鳳来育林ボランティアに参加しました。普段かかわりの少ない他部署の方々や、新入社員研修から 1 か月ぶりに同期に会うことができる貴重な機会だったためとても楽しみでした。1 日目は集まった方と、BBQ やスポーツなどを行って交流を深めました。2 日目は育林活動を行いました。現場に着くとどこから手を付けていいかわからないぐらいに草木が生えていましたが、集まった方と草刈りを行っていくことで、あっという間にきれいになっていきました。きれいになっていくと山頂付近では宿泊していた学校や、周りの景色が見渡せるようになり達成感がありました。また、草刈り以外にも木を切り倒すために木の皮をむく作業を行いました。木の水分を抜くために皮をむいて、木を切り倒しやすくするそうです。木を一本切り倒すのにもいろいろな準備を行って、ようやく行えるということを知りました。

この育林活動で育林の重要性を学べると同時に、他部署の方々と交流や自然と触れ合うことで気分をリフレッシュすることもできました。また一緒に働いている先輩方の普段とは違う一面も見ることができ、とてもいい経験ができたと思います。自然が好きな方や新入社員の方には、自然と触れ合うことができ、色々な方と交流できる貴重な機会なので是非参加してみてください。



チャリティーカレンダー展へのカレンダー寄付（対象：全社）

年末年始にはお客様や協力会社から頂いて余ってしまったカレンダーや手帳類を広島ケナフの会主催のチャリティーカレンダー展へ送付しています。全国から善意で寄せられたカレンダーや手帳は 1 点 100 ～ 200 円で販売され、その収益金があしなが育英会に寄付されたほか、全国の被災地にある仮設住宅や福祉施設等にも寄贈されました。

古切手の回収（対象：本社）

古切手を集め、愛知県社会福祉協議会ボランティアセンターに届けています。収集した切手は複数の収集団体に寄贈され、切手業者や愛好家への販売により換金し、国内外の様々な福祉に役立てられます。障がい者の理解促進活動、自然環境保全、発展途上国の保健医療の援助や、各種施設の建設資金等その目的はさまざまです。ただ捨ててしまえば廃棄物ですが、普段の生活において、ほんの少し意識するだけで気軽にできるボランティアです。



2024 年度環境フォーラム 委員長感想

水処理技術課 望月 今生

環境フォーラムとは、環境月間である6月に開催している弊社主催のイベントです。「水を中心とする環境文化と、安全で快適な自然環境の創造を通じて社会に貢献します」という経営理念を体現するイベントであり、2024年6月で33回目の開催となります。毎年11月頃に社内で有志を募り環境フォーラム委員会を立ち上げ、約6ヶ月の準備期間を経てイベントを作り上げていきます。これまで取り上げてきたテーマは弊社の業務に関係する「水」だけでなく、「地球温暖化」「環境ビジネス」「里山」「マイクロプラスチック」等多岐にわたります。環境や社会を見つめなおし、行動するきっかけとなるようメッセージを込めてきました。

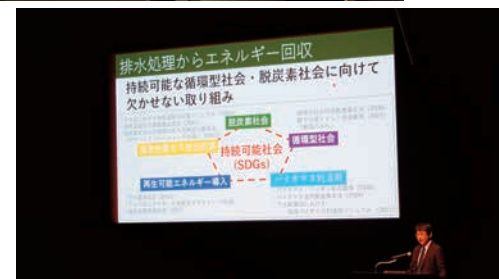
私が環境フォーラム委員長を務めた第33回のテーマは「排水処理から『とりだす!』『つくる!』～資源化・エネルギー化が拓く未来～」です。「排水処理」は、「汚い」「くさい」「捨てる水にお金がかかる」といったネガティブなイメージを持たれがちです。このフォーラムでは、排水処理を「資源化・エネルギー化」という視点から捉え直し、「コストを掛けてでもぜひやってみたい」と思うような、プラスのイメージに変えていこうというメッセージを込めました。さらに、弊社をはじめ排水処理に関わる業界の方々に、自らの仕事を新しい視点で捉えなおすきっかけになってほしい、というメッセージも含まれました。

第33回環境フォーラムは、ここ数年の開催形式に倣い、会場参加+オンライン視聴（見逃し配信あり）のハイブリット開催としました。「オンライン視聴（見逃し配信あり）」はもとより新型コロナウイルス感染症対策として始まった開催形式です。しかし、遠方にいる方、時間の都合が合わない方でも参加できる形式なので、今

後も続けていきます。また、オンライン視聴の方も講師の方に質問できるよう、当日の休憩時間や舞台転換時間にチャットで質問を受け付ける工夫も前回の開催から引き継ぎました。こういった開催形式や当日の工夫もあって、500名を超える方々にご参加、ご視聴いただくことができました。

第33回環境フォーラムでは、事後勉強会も実施しました。事後勉強会では、「排水処理からエネルギーを取り出す」ということをより実感してもらえよう、「微生物燃料電池」を作成しました。複数の地点から採取した泥を用いて、参加者で協力して微生物燃料電池を作成し、電気を発電しました。十数個の微生物燃料電池を直列でつなげて、発電した電気で発光ダイオードを点灯させました。

環境フォーラムは若手社員が集い、テーマの選定から自ら考え、6ヶ月程度の時間をかけて作り上げるイベントです。環境や社会について参加者の皆様と学び、行動に移していけるよう、これからも継続していきます。



排水処理講座

2024 年度 排水処理講座を開催しました！

昨年度に引き続き、排水処理講座を開催しました。当講座は、排水処理の運転管理に関わる法律や管理のポイント等を3コースに分けて解説、紹介しています。開催開始から10年以上が経過し、多くの企業様にご受講いただけてきました。

当初は会場にお招きし対面で開催していましたが、2020年度以降はオンラインで開催しています。排水処理をご担当しているお客様の中には、現場のトラブル対応のため、やむを得ず席を外す方もいます。そのような方にも安心して受講していただけるように、講義終了後に見逃し配信を実施しています。講義を聞き逃してしまった時や復習したい時にご活用いただいています。

また、オンライン開催としたことで、日本全国のお客様にご受講いただけるようになりました。毎年受講して下さるお客様もいっしょにいます。弊社の排水処理講座が根付いてきたのかなと思う今日この頃です。これからも多くのお客様に排水処理に関する最新情報をお届けできるよう、定期的な講義内容の見直しをしていきます。ご受講いただいた方にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

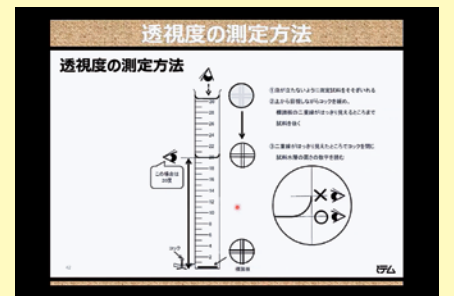
講座内容をリニューアルし、2024 年度も開催します！

昨年に引き続き3コースでの開催を予定しています。法律基礎コースと管理基礎コースでは排水処理の基礎について分かりやすく解説します。知識向上コースは昨年度リニューアルし、水質汚濁防止法の解説指導助告・改善命令の流れ等、弊社に相談があった実例を基に紹介します。初心者から責任者の方まで、排水処理担当者に役立つ知識を発信しています。

詳細は弊社 HP あるいは排水処理講座リーフレットをご確認ください。多くの方のご参加をお待ちしています。



ソリューション営業課



環境方針の周知徹底と情報公開

ホームページ

エステムではサービス内容、お悩み解決事例などを紹介した「会社 HP」と、「採用サイト」を運用しています。

採用サイト (<https://stem-saiyou.jp/>) は2019年に、会社 HP (<https://www.stem.co.jp/>) は2022年にリニューアルいたしました。ぜひご活用ください。



採用サイト



環境・コミュニケーションレポートの作成

社会的な説明責任の観点から、年1回、環境保全の取り組みや環境負荷低減に関するレポートを作成しています。バックナンバーはエステム HP の「環境・コミュニケーションレポート」からダウンロードできます。